



## 設立10周年に寄せて

日本電気株式会社 熊本支店担当部長  
元熊本県工業技術センター 所長  
元RIST 副会長

林 房 友

RIST設立10周年、誠にお目出度うございます。

この目出度い日を迎えることが出来たのも、熊本大学を中心とする学界の皆様との並々ならぬ御尽力のお蔭で、初代会長の上野教授の統率力、現会長の川路教授の情熱、そして、RISTの活動に深くかかわってこられた諸先生のリーダーシップに負うところが大きいと思います。

わたしは、H8～9年度の2年間、県工業技術センター所長として、RISTの副会長を仰せつかりました。

メンバーは、鎗々たる大学・高専の教授、研究者、産業界の方々ということで、当初はいささかビビりました。

産業界の方々には、前職場の関係で、少々付き合いがあり、お目にかかれることを楽しみにしておりましたが、学生時代の不勉強の後遺症で、教授と聞くだけでつい尻込みしたくなります。三十数年ぶりに困ったというのが、偽らざる気持ちでした。

しかし、いざ付き合いを始めてみると、試験で絞られることも学問的なテーマで追及されることもなく、愉快地に過ごさせていただきました。わたしの場合、専ら懇談の場が多かったわけですが、談論風発して、啓発されることが多かったですね。

浅学非才にして専門的な分野での議論は出来ませんでした。学問に対する畏敬の念を抱いて接すれば、先生方は胸襟を開いてくださる、と意を強くしたことでした。

年間延べ人・日数何千かの研修・会議・技術指導・研究を引っ張って、貢献していただいていることに、唯々頭の下がる思いが致します。また、熊本にいながら世界レベルの講演を実現させていただくなど、RISTならではと、有り難く思いました。

一つ残念なことは、地域の産業界の方々がRISTという宝の山を正しく認識して、若い研究者・従業員を、派遣するなどの努力をもっとやってよいのではないかとこの点です。近年、参加企業数が増えず低迷しているのではないかと、退職後も何とも気がかりです。

景況が悪く人手を出せないという事情もわかるのですが、従業員のレベルアップ、人脈の形成、シーズの探索等計り知れぬ恩恵があります。立派な先行投資ですから、少々無理をしても従業員を参加させていただきたいものです。行政側も参加企業を増やし、技術の底上げを図るなどの積極的な支援が必要な時期にさしかかっているのではないのでしょうか。

真理の探究、学生の教育という重要な本来業務を抱えながら大学・高専の先生方が、地域産業の技術の高度化、振興という旗を高く掲げて中心的に御活躍いただいていることに感謝を申し上げます。

全国の大学に先駆けて発足した熊本の産学行政の組織が、その後の国内の産学行政の結集のモデルとして大きな潮流を作り、地域産業の米となり、母胎となって着実に結実していることに心より敬意を表し、この節目を機に更に発展していただくとを願っております。